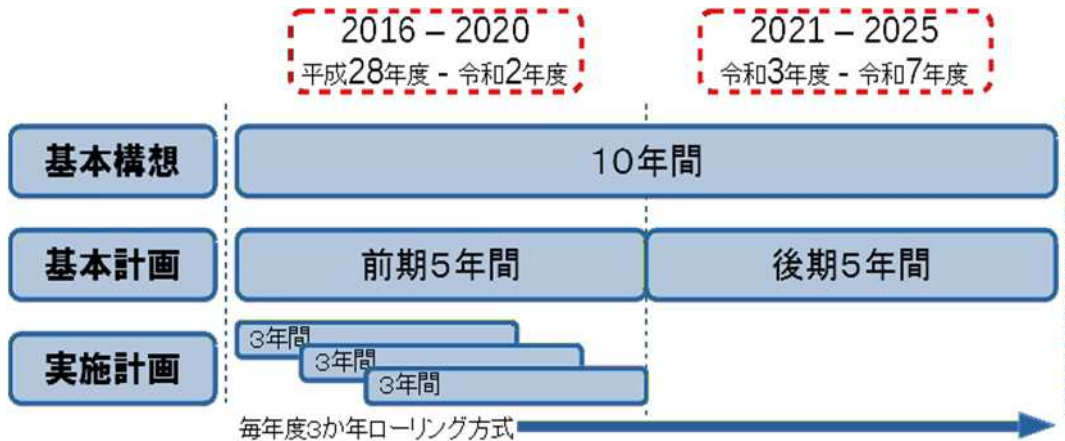


## 第5次豊明市総合計画中間見直し方針

### 1. 目的

平成28年度から始まった総合計画が令和2年度末で中間点を迎えるため、現状の効果検証に基づき必要な点を見直し、めざすまちの姿の実現に向けて令和3年度以降の後期基本計画として策定する。

図1 総合計画の計画期間



### 2. 見直しの概要

#### (1) 基本構想 (P. 18～P. 22)

- ・修正なし

#### (2) 基本計画

##### ア 基本フレーム (P. 25～P. 27)

- ・時点修正

##### イ 計画の体系 (P. 28～P. 31)

- ・修正なし（めざすまちの姿の追加があれば要検討）

##### ウ 理念ごとの計画 (P. 36～P. 127)

##### (i) 現状と課題

- ・時点修正

##### (ii) まちづくり指標

- ・まちづくりアンケート調査の現状分析
- ・めざそう値の確認

現状値とめざそう値が大きく乖離している指標については、原因を精査したうえでめざそう値の修正を行う

- ・まちづくり指標自体の点検

- (iii) 市が取り組むこと
  - ・修正なし
- (iv) 市民ができること
  - ・市民ワークショップを開催し、市民ができることの修正を行う
- (v) 役割期待値
  - ・修正なし（市民ワークショップで確認し、再認識してもらう）

(3) 地域別計画 (P. 129～P. 145)

市民ワークショップにて、自慢できること・好きなところ及び地域ができることを改めて挙げてもらう

(4) その他

SDGs（17の持続可能な開発目標）の総合計画における整理

■ 理念ごとの計画 ページの見方

めざすまちの姿

グループインタビューにおける市民の発言をもとに整理しためざすまちの姿を、市民アンケートにより多くの市民が重要と考えるめざすまちの姿として絞り込み、さらに市の方針に基づき設定した目標です。

( i ) 現状と課題

めざすまちの姿を取り巻く現状と課題です。

( iii ) 市が取り組むこと

めざすまちの姿を実現するために実施する市の取り組みの基本的な方向性を示したものです。個々の事業はめざすまちの姿を実現させるための手段であり、毎年度見直しを行う実施計画に記載しています。

( iv ) 市民ができること

めざすまちの姿を実現するために市民ができることを例示しています。市民有志で構成する、まちの未来を描き隊からアイデアを出していただきました。

( ii ) まちづくり指標

めざすまちの姿の達成状況を測る“ものさし”です。市民有志で構成する、まちの未来を描き隊からの提案を最大限尊重し設定しています。まちづくり指標の説明については、本計画書150～157ページを参照してください。

現状値

まちづくり指標の平成26年度までに把握できた数値です。

めざそう値

現状値を踏まえ、5年後(平成32年度)、10年後(平成37年度)に実現可能な範囲でめざすべきとして設定した数値です。市民や職員へのアンケートを実施し、その結果の平均値をもとに設定しています。多様なまちづくりの主体がそれぞれの役割と責任を果たし、めざそう値の達成をめざします。

( v ) 役割期待値

めざすまちの姿を実現していく上で、各まちづくりの主体の役割分担に対する期待値を表しています。市民や市職員、関係機関等に属する人に対し、各まちづくりの主体への期待を5段階で尋ねるアンケートを実施し、その結果の平均値をもとに設定しています。まちづくりの主体は、個人・家庭、市民団体・NPO、区・町内会、企業・事業所・商工会、学校、豊門市、県・国に分類しました。なお、構成比の合計は、四捨五入の関係で100%にならない場合があります。

■ 理念ごとの計画 ③ 健やか/健康福祉

### めざすまちの姿

#### 11. 子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている

■ 現状と課題

生活環境の改善や医学の進歩によって結核などの感染症が激減し、日本は世界でも有数の長寿国となりました。一方で、食生活の変化や生活環境の自動化を背景に心臓病や糖尿病、高血圧などの生活習慣病の増加により医療費は増大し、急速に進む高齢化社会において大きな社会問題になっています。

本市における3大死亡原因は、がん、心疾患、脳血管疾患です。また、メタボリックシンドローム該当者及び予備者は29.8%(平成23年度)という状況です。本市では、市民が適切な生活習慣、食習慣の改善とともに運動習慣を身につけることができるように「第2次とよかけ健康21計画(平成26～35年度)」に基づき、楽しみながら健康の維持につながるような運動の普及推進を進めています。

また、体育施設の老朽化や、ライフスタイルの多様化に伴うスポーツ離れ、スポーツ指導者の高齢化など、市民が運動できる環境についての課題があります。誰もが運動に親しむことができるよう、ハード面だけでなくきっかけ作りや指導者の育成などの環境を整える必要があります。

#### まちづくり指標

項目	現状値	めざそう値	10年後	
スポーツをするために必要な情報が得られている市民の割合	—	100.4%	44.8	58.7
スポーツを教えてくれる人がいると思う市民の割合	—	204.6%	129.6	140.4
スポーツを楽しむことができている市民の割合	—	137.1%	47.7	58.0
高齢層に関わっていない市民の割合	—	135.2%	21.8	29.2

※参考：国統計局調査。めざすまちの姿の達成状況を評価し、事業の改善につなげていきます。

#### 役割期待値

5段階評価のアンケート調査をもとに設定した、「めざすまちの姿」を実現していく上での各まちづくりの主体に対する期待値です。

主体	期待値
個人・家庭	12%
市民団体・NPO	14%
区・町内会	20%
企業・事業所・商工会	1%
学校	15%
豊門市	17%
県・国	10%

「めいんとたいかつり、日空時に運動」であるが4.4%。

#### 市が取り組むこと

【大施策】 誰もが気軽に運動を楽しみ、健康に暮らせるまちをつくる

【中施策】

- 誰もが運動を楽しめる機会や場をつくる
- 市民の体質や基礎体力を高めるための活動を支援する
- 一緒に運動を楽しむ仲間を助け、リーダーを育成する

※めざすまちの姿を実現していくために、手立てのある事業は実施計画に所収しています。

#### 市民ができること

- ご近所や友達同士でスポーツする機会に誘い合うことができます。
- スポーツ大会を企画し、運営することができます。
- 思いやり、自転車の利用を勧誘することができます。
- 自分の得意なスポーツを教えて、スポーツの輪を広げることができます。
- 地域に根づいたスポーツを考え、実現することができます。

スガールレクリエーションファースティバド

第5次豊明市総合計画 中間見直しスケジュール表

		令和2年度												
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
審議会					1日委員委嘱		審議会①(諮問)				審議会②		審議会③(答申)	
中間見直し		現状値調査及び集計	集計作業				まちづくり指標の検証及び見直し	時点修正等	確認作業 とりまとめ		(議会上程)	パブコメ	全協にて報告	成果物の納品
		まちづくり指標の分析			現状分析		めざそう値の見直し検討						とりまとめ	
市民WS		参加者募集					参加決定通知		市民WS①	市民WS②				